

○空港の津波浸水想定高さについて

(仙台空港、中部国際空港、関西国際空港、高知空港、大分空港、宮崎空港)

内閣府が平成 23 年 8 月に設置した「南海トラフの巨大地震モデル検討会」にて検討され、平成 24 年 8 月に公表された、最大クラスの地震・津波の結果に基づき空港の津波浸水想定高さを設定した。

なお、内閣府公表の津波では浸水に至らない空港もあるので、より厳しいケース（津波高さを 1 m 加算した）についても設定した。

また、仙台空港の津波想定高さは、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波を再現することを目的に実施した。

津波浸水想定高さ

空港名	対象津波*	津波浸水想定結果
仙台空港	現況再現	空港の大部分が浸水する。 ターミナルビル前面の浸水深は最大 4m 程度となる。 空港内の最大浸水深は空港東部で発生し、6m 程度となる。
中部国際 空港	①	空港島東側に浸水が生ずる。
	②	空港の大部分が浸水する。 ターミナルビル前面の浸水深は最大 0.5m 程度となる。 空港島の最大浸水深は空港東部で発生し、3m 程度となる。
関西国際 空港	①	ほとんど浸水が生じない。(1 期島の一部に浸水が生ずる。)
	②	1 期島全域が浸水する。 ターミナルビル周辺の浸水深は最大 3m 程度となる。 空港島の最大浸水深は 1 期島北西部で発生し、3.5m 程度となる。
高知 空港	①	空港の半分以上が浸水する。 ターミナルビル前面の浸水深は最大 2.5m 程度となる。 空港内の最大浸水深は南側先端部で発生し、5m 程度となる。
	②	空港の大部分が浸水する。 ターミナルビル前面の浸水深は最大 6m 程度となる。 空港内の最大浸水深は南側先端部で発生し、8m 程度となる。
大分 空港	①	空港への浸水は発生しない。
	②	空港の半分程度が浸水する。 ターミナルビル前面の浸水深は最大 0.2m 程度となる。 空港内の最大浸水深は誘導路周辺で発生し、2.5m 程度となる。

宮崎 空港	①	空港の半分程度が浸水する。 ターミナルビル前面の浸水は発生しない。 空港内の最大浸水深は東側先端部で発生し、5m 程度となる。
	②	空港の大部分が浸水する。 ターミナルビル前面の浸水深は最大 0.5m 程度となる。 空港内の最大浸水深は東側先端部で発生し、8m 程度となる。

※ 現状再現：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波を再現

① ：平成 24 年 8 月公表の津波

② ：平成 24 年 8 月公表の津波を約 1m 程度上回る津波

注) 護岸がない状態を想定したケース（護岸が崩壊するか否かを検討したものでない）